

## 米空軍グローバル・ホークの横田飛行場への一時展開について

このことについて、防衛省北関東防衛局より、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

なお、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会では、下記のとおり文書要請を行っております。

### 記

#### 1 情報提供内容

別紙1のとおり

#### 2 文書要請内容

##### (1) 要請日

令和5年5月12日（金）

##### (2) 要請先

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

北関東防衛局長

横田防衛事務所長

##### (3) 要請内容

別紙2及び別紙3のとおり

## 米空軍グローバル・ホークの横田飛行場への一時展開について

## 背景

- 我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増し、周辺国の軍事活動が活発化する中、情報収集・警戒監視・偵察（ISR）活動はますます重要。航空自衛隊もグローバル・ホークを導入。
- 特に、優れたISR能力を有する米軍との協力は極めて重要であり、米軍は、2014年以降、グアムを拠点に運用されている米空軍の無人偵察機グローバル・ホークを日本（三沢飛行場及び横田飛行場）に一時的に展開。これまで安全に運用され、騒音も戦闘機等に比べ小さい。
- 本年1月の日米「2+2」において、ISR活動の二国間協力を深化させることを決定。

## 本年の展開計画及びその意義

- 本年は、**3機が5月中下旬から横田飛行場へ一時的に展開される予定(※)**。  
**人員は、約100名の予定。**  
(※) 我が国周辺の安全保障環境を踏まえ、現時点で展開の終了時期は未定。ただし、常駐はしない。
- これについては、現下の安全保障環境を踏まえると、この地域におけるISR（情報収集、警戒監視、偵察）活動のニーズは引き続き高く、グローバル・ホークの効果的な運用を最大限確保する観点で検討した結果、本年は横田飛行場へ一時展開するもの。
- 周辺国の動向を踏まえると、我が国周辺地域における情報収集態勢の強化は、我が国の防衛上の不可欠かつ喫緊の課題。今般の一時展開は、米国による我が国防衛への揺るぎないコミットメントを示すとともに、我が国周辺における監視能力の強化をもたらし、我が国の安全保障にとって有益。

機種名	RQ-4（グローバル・ホーク）
全幅	39.90m
全長	14.50m
全高	4.70m
最大離陸重量	12.1t
運用速度	574km/h
航続距離	22,779km
滞空時間	36時間
運用高度	15,240～19,810m
搭載センサー	可視、赤外線、SAR（合成開口レーダー）、信号情報
初飛行	1998年

日本への  
展開実績

- ・ 2014年5月～10月 三沢
- ・ 2015年7月～12月 三沢
- ・ 2017年5月～10月 横田
- ・ 2018年6月～10月 三沢
- ・ 2019年8月～10月 横田
- ・ 2020年7月～ 9月 横田
- ・ 2021年5月～10月 横田
- ・ 2022年5月～10月 横田

## 米空軍グローバル・ホークの横田飛行場への一時展開について（要請）

令和5年5月12日に、防衛省北関東防衛局より、令和5年5月中下旬頃から、グアムを拠点に運用されている米空軍の無人偵察機グローバル・ホークが横田飛行場に一時展開されるとの情報が東京都及び基地周辺自治体に提供されました。

本件は、我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増し、周辺国の軍事活動が活発化し、情報収集・警戒監視・偵察（ISR）活動はますます重要となっている中、行われるとのことですが、平成29年度以降、横田飛行場への一時展開は6回目であり、令和元年度以降5年連続となることから、横田飛行場への一時展開の常態化を含む今後の運用が懸念されます。

については、下記の項目について要請します。

## 記

- 1 安全対策を徹底するとともに、騒音など周辺住民の生活環境への影響を最小限にとどめること。
- 2 今回、一時展開される期間、周辺住民に影響を与える事項及びグローバル・ホークに関わる今後の運用について、迅速かつ正確な情報提供を行うこと。

令和5年5月12日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリュー L. ラダン大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	羽 村 市長	橋 本	弘 山
	立 川 市長	清 水	庄 平
	昭 島 市長	臼 井	伸 介
	福 生 市長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	山 崎	泰 大
	瑞 穂 町 長	杉 浦	裕 之

## 米空軍グローバル・ホークの横田飛行場への一時展開について（要請）

令和5年5月12日に、防衛省北関東防衛局より、令和5年5月中下旬頃から、グアムを拠点に運用されている米空軍の無人偵察機グローバル・ホークが横田飛行場に一時展開されるとの情報が東京都及び基地周辺自治体に提供されました。

本件は、我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増し、周辺国の軍事活動が活発化し、情報収集・警戒監視・偵察（ISR）活動はますます重要となっている中、行われるとのことですが、平成29年度以降、横田飛行場への一時展開は6回目であり、令和元年度以降5年連続となることから、横田飛行場への一時展開の常態化を含む今後の運用が懸念されます。

については、このような状況を十分認識され、下記の項目について米軍に申し入れを行うとともに、国の責任において情報収集に努め、迅速かつ正確な情報提供及びホームページ等による公表を行うよう要請します。

## 記

- 1 安全対策を徹底するとともに、騒音など周辺住民の生活環境への影響を最小限にとどめること。
- 2 今回、一時展開される期間、周辺住民に影響を与える事項及びグローバル・ホークに関わる今後の運用について、迅速かつ正確な情報提供を行うこと。

令和5年5月12日

{ 北関東防衛局長 扇谷 治 殿  
 横田防衛事務所長 中村 敦 殿

## 横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	羽村市長	橋 本	弘 山
	立川市長	清 水	庄 平
	昭島市長	臼 井	伸 介
	福生市長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	山 崎	泰 大
	瑞穂町長	杉 浦	裕 之